

令和5年度 組織改編と人事異動

4月1日付けで組織改編と人事異動を実施。
 「未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴の再生」を目指し、希望を次世代に確実に継承していくために「次世代への積極的な投資」「安全で安心できる社会の実現」「魅力的なまちづくりの構築」「身を切る行財政改革の遂行」の4つを基本施策の柱とし、その実現に向け市政を推進するために必要な組織改編と人事異動を行いました。

組織改編

「改革推進課」を設置

今ある業務をゼロベースで見直し、既存の事業には、より効率的な手法はないか、民間の力に委ねたほうが、より効果的な施設はないか、洗いざらい検証するとともに、市民との対話集会などを通して、真に必要な施策を把握し行財政改革を推進します。

「デジタル推進室」を設置

今後の行財政改革を遂行する上で重要な行政デジタル化を推進し、

「健康総合対策室」を設置

地域医療の確保や健康診査、ワクチン接種などに関して、健康づくり課と

「市史編さん係」を設置

舞鶴市史刊行から四半世紀以上経過し、高速道路ネットワークの完成や京都舞鶴港の機能強化、引揚記念館収蔵資料のユネスコ世界記憶遺産登録や旧軍港4市の日本遺産登録など、この間の舞鶴市の変遷を記録するため、市制施行80周年をきっかけとして、市史編さんに着手します。

「図書館再編推進係」を設置

舞鶴市図書館基本計画に基づき、整備を予定している中央図書館や再編する各分館のあり方、図書館利用の活性化策について、市民参加のワークショップで意見を伺い、求められる図書館の

「農林水産振興課」と「農林水産基盤整備課」の統合

農林水産業の活性化を目指し、ブランド力の向上や商品の高付加価値化などに積極的に挑戦するとともに、ほ場整備や漁港施設の機能強化、「ICT」を利用した先端技術の活用など、生産性向上に向けた取り組みを実施することで、舞鶴の環境に応じた次世代型農林水産業の実現に向け、ソフトとハードの両面から、一体的に取り組みします。

「ふるさと応援寄附金プロジェクト・チーム」の設置

令和4年度に、前年度の2倍の約2億9千万円の寄付をいただいた「ふるさと納税」について、観光まちづくり室長を総括責任者とし、農林水産振興課、移住・定住促進課など、部を越え一丸となって、利用者の多様なニーズに応じた返礼品の開発や、さらなる利用拡大に取り組みします。

教育長に廣瀬直樹氏

奥水孝志氏の辞任に伴い、廣瀬直樹氏（指導理事）を教育長に任命。長年にわたる教員としての経験、指導理事としての実績のもと、本市教育のさらなる振興に取り組みます。



人事異動

異動の規模は正職員736人中230人。

令和4年度の退職者は48人、令和5年度の採用者（令和4年度の中途採用者を含む）は32人。

正職員数は752人から736人へ16人の減。

▽参事（多世代交流施設まなびあむ所長）
 福田 豊明

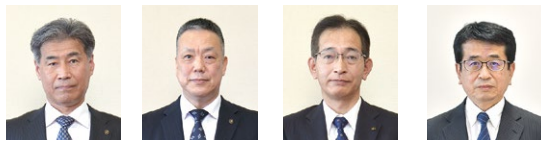
【部長】

▽市長公室長（総務部長）
 桑垣 義亮

▽危機管理監（危機管理室 危機管理・防災課長）
 梅川 正

▽総務部長

（福祉部長兼福祉事務所長）
 杉本 和浩



▽福祉部長兼福祉事務所長（会計管理者兼会計課長）
 岸本 昭彦

▽健康・子ども部長兼福祉事務所長（健康・子ども部次長）馬場 昭

▽産業振興部長（産業創造室長）
 小島 宏

▽建設部長（国・府事業推進室長兼国・府事業推進課長）白木 治彦

▽上下水道部長（上下水道部次長）
 田畑 敦郎

▽教育振興部長（子ども総合対策室長兼幼稚園・保育所課長）志賀 洋一

▽教育委員会指導理事（舞鶴市立白糸中学校長）
 秋原 栄人

▽市民病院管理部長（教育振興部学校教育課長）
 坂根 久喜

※（内）は前役職

▽組織改編と人事異動について詳しくは、市ホームページに掲載しています。下コードからアクセス可。



市ホームページに掲載しています。下コードからアクセス可。



▲年度始めの市長訓示（4月3日）